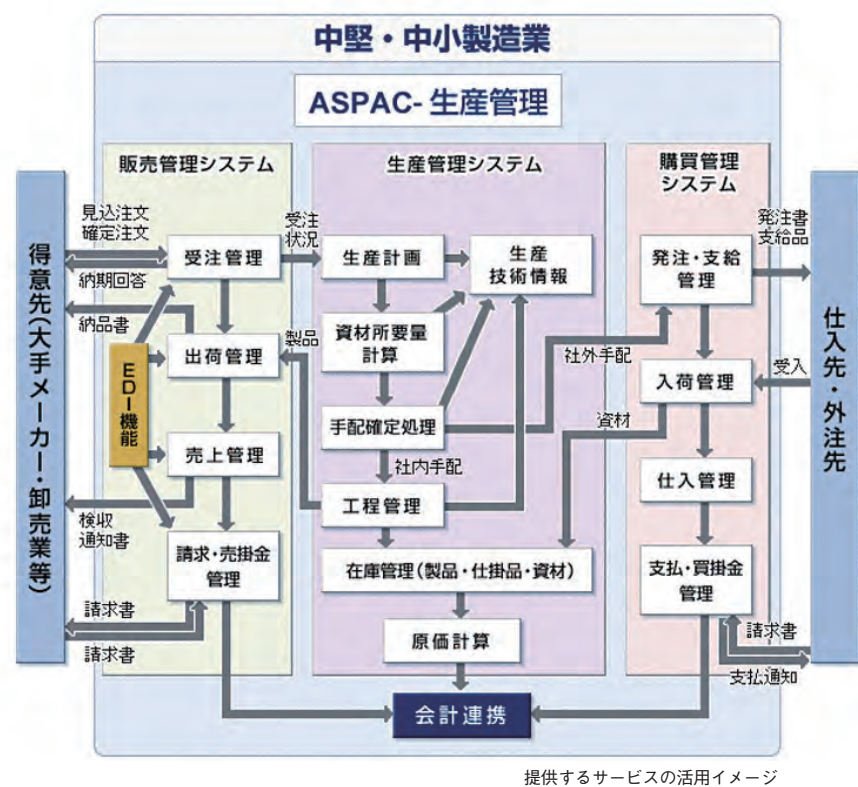


株式会社 アスコット／株式会社 アイエルエス 株式会社 イースクラム／コンピュータ・サイエンス 株式会社



低価格のERPをクラウドで実現、 中小企業へ提案加速

平成25年度 補助事業と具体的成果

事業テーマ

中小IT企業連携体による 「中小小規模企業向けクラウドサービス」の提供

事業概要

サーバー機器を4社共同で調達し、統合業務パッケージ(ERP)を低価格のクラウドサービスとして提供できるようにした。4社で資金を供出することで、大手IT企業がけるERP「ASPACシリーズ」は、中堅・中小企業で採用されている。だが企業体力が小さい中小零細企業には導入ハードルが高い。月額2万円程度からという低価格での提供を実現することで、中小零細企業向けへの提案を強化している。



共同購入し構築したサーバー機器

課題

- アスコットが提供するERPは従来、オンプレミス(自社保有)で提供していた。そのため自社でサーバー環境を用意できない中小企業にとっては、導入が難しかった。

取組

- 共同購入したサーバーに、アスコットとアイエルエスのERPを構築した。アスコットがサーバー管理を手がけ、イースクラムとコンピュータ・サイエンスが営業活動を担う。

成果

- 売上高10億円以下の小規模な中小企業に対しても、アスコットとアイエルエスのERPを提案しやすくなった。

業務内容

開発・構築・営業など、各社の強みを結集して実現

共同購入したサーバー上に、アスコットが開発した生産・販売管理システム「ASPACシリーズ」と、アイエルエスが開発した経営情報解析システム「BIツール」をインストールした。両システムは、中堅・中小企業向けERPとして多くの導入実績を持つ。イースクラムがサービスレベル、価格、契約などを決定し、コンピュータ・サイエンスが申込み用の紹介ホームページを作成するなど、各社のノウハウを生かして構築を進めた。

その後のサーバーの運用管理はアスコットが担当。製造業向けに強いイースクラム、卸売業向けに強いコンピュータ・サイエンスが、自社の販売網を生かして営業提案している。



中小企業が生き残るために必要な『戦略的同盟』を

大企業と取引するためには、電子データ交換(EDI)の仕組みを自社で用意することが重要です。当社のシステムをクラウドサービス化すれば、中小零細企業でもその仕組みを用意でき、成長を後押しできると考えました。情報システムによって企業間で『戦略的同盟』を構築しなければ、サプライチェーンの中で生き残ることはできません。



- 社名 株式会社 アスコット
- 代表者 代表取締役会長 森井 義雄
- 住所 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手前フタバビル6F
- TEL 06-6944-9211 ●FAX 06-6944-3233
- 資本金 50,000千円 ●従業員 92名

<<< 代表取締役会長 森井 義雄

<https://www.ascot.co.jp/>

- 主な取引先 流通業(消費財卸、生産財卸、理美容卸、紙卸、ねじ卸など)、製造業(部品加工業、プラスチック成形業、金属加工業など)
- 主な保有設備 クラウドサーバー
- 主力製品 業種・業態別ビジネスモデル強化支援型経営課題解決システム「ASPACシリーズ」



- 社名 株式会社 イースクラム
- 代表者 代表取締役 中村 開
- 住所 〒541-0046 大阪市中央区平野町4-6-16 グロツツベッケルトビル7F
- TEL 06-6222-0018 ●FAX 06-6209-0802
- 資本金 15,000千円 ●従業員 10名

<<< 代表取締役 中村 開

<https://www.esccrum.co.jp/>

- 主な取引先 株式会社富士通マーケティング
- 主力製品 業種・業態別ビジネスモデル強化支援型経営課題解決システム「ASPACシリーズ」の仕入れ販売



強みとビジョン

豊富なラインアップで導入時の開発負担を軽減

アスコットは中堅・中小企業向けに特化したERPを開発する。主力製品のASPACシリーズは、主に流通業向けに、消費財、食品、理美容、医療材料、紙、ねじなど、製造業向けに部品加工、プラスチック成形、消費財製造など、各業種にあわせて10種類以上のラインアップを展開する。業種によって商習慣が異なるため、市販の汎用的なERPだと独自カスタマイズの負担が大きくなってしまふ。細かいラインアップを用意することで、その負担を軽減できるのが特徴だ。各業種ノウハウを持った同社のシステムエンジニア(SE)のコンサルティング力が、高く評価されている。



- 社名 株式会社 アイエルエス
- 代表者 代表取締役 永石 和生
- 住所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-4 新大阪生原ビル2F
- TEL 06-4805-3870 ●FAX 06-4805-3871
- 資本金 5,000千円 ●従業員 9名

<<< 代表取締役 永石 和生

<http://www.ils-net.co.jp/>

- 主な取引先 株式会社アスコット、株式会社シスコ
- 主な保有設備 クラウドサーバー
- 主力製品 業務アプリケーション



- 社名 コンピュータ・サイエンス 株式会社
- 代表者 代表取締役社長 今本 鶴恒
- 住所 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-30 NLC心斎橋アースビル9F
- TEL 06-6252-7775 ●FAX 06-6243-0365
- 資本金 10,000千円 ●従業員 13名

<<< 代表取締役社長 今本 鶴恒

<https://www.e-csc.co.jp/>

- 主な取引先 ラブリー・ペット商事株式会社、株式会社コクヨMVP、大和特殊鋼株式会社、三星商事株式会社など
- 主力製品 IT関連機器、ITソリューション、ネットワーク構築サービスなど



REPORTER'S EYE

複数社が共同で補助金申請することで、大規模な設備導入を実現したのは珍しい事例だ。クラウドサービスは今でこそ普及しているが、アスコットら4社が運用し始めた平成27年当時は、まだ一般的ではなく、先進的な取り組みだった。企業の成長に不可欠なERPを低コストで利用可能にしたことは、中小企業支援の視点からも、社会的意義が大きいといえる。今後はSE人材を強化し、業種別ラインアップを拡充することが不可欠だ。